

令和4(2022)年度  
かわさき市民アンケート  
報 告 書

川 崎 市



# 目次

I	調査概要	1
II	調査回答者の属性	5
1	第1回アンケートの回答者	7
2	第2回アンケートの回答者	10
III	調査結果	13
1	第1回アンケートの調査結果	15
1.1	みどりとの関わりについて	17
(1)	「みどり」への関心の程度	17
(2)	「みどり」に愛着を感じる程度	19
(3)	総合公園の利用頻度・認知状況	21
(4)	総合公園を一緒に利用した人について	27
(5)	総合公園の利用目的	30
(6)	総合公園への交通手段	37
(7)	みどりに関わる取組について	41
1.2	コミュニティに係る施策について	45
(1)	地域とのつながりについて	45
(2)	地域のつながりに関わるようになったきっかけ	47
(3)	地域とのつながりによって生じた変化	50
(4)	地域での活動やつながりの場に参加していない理由	52
1.3	選挙について	55
(1)	政治への関心の程度	55
(2)	近年の選挙における投票行動	58
(3)	投票しなかった理由	63
(4)	見たり聞いたりしたことがあった選挙の案内	65
(5)	かわさき市政だよりに掲載の選挙特集閲読状況	67
(6)	投票所入場整理券に同封した啓発チラシ閲読状況	69
(7)	選挙公報のポスティングによる配達状況	71
(8)	選挙公報が市ホームページで閲覧できることの認知状況	73
(9)	川崎市選挙マスコット「イックン」認知状況	75
(10)	啓発イメージキャラクターの起用について	78
1.4	新型コロナウイルス感染症について	81

2	第2回アンケートの調査結果	83
2.1	定住状況について	85
(1)	居住年数	85
(2)	定住意向	88
(3)	転居意向の理由	90
(4)	転居先の希望	91
2.2	生活環境の評価について	93
(1)	生活環境の満足度	93
(2)	総合的な生活環境の満足度	103
2.3	関心ごとと行動範囲について	106
(1)	関心を持っていること	106
(2)	行動範囲	109
2.4	市政に対する評価と要望について	114
(1)	市政の仕事でよくやっていると思うこと	114
(2)	市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと	119
(3)	施策や事業の総合的な満足度	124
2.5	夢見ヶ崎動物公園について	127
(1)	夢見ヶ崎動物公園の認知・利用状況	127
(2)	川崎市周辺の動物園の認知・利用状況	129
(3)	夢見ヶ崎動物公園の特徴や魅力について	133
(4)	夢見ヶ崎動物公園の特徴を活用した取組について	137
(5)	夢見ヶ崎動物公園のリニューアルについての考え	139
2.6	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う生活の変化について	147
(1)	テレワークの実施状況	147
(2)	テレワークが定着する中で身近にほしい場所	151
(3)	普段よく使う鉄道の最寄り駅	154
(4)	徒歩圏について	156
(5)	自宅から最寄り駅までの交通手段	159
(6)	市内の路線バスの利用頻度	161
(7)	最もよく利用するバス会社と利用目的	165
(8)	市内の路線バス利用において不満に感じること	168

(9) コロナ禍前と比較した路線バス利用頻度の変化について .....	170
(10) 路線バス利用頻度減少の程度と理由 .....	172
2.7 新型コロナウイルス感染症について .....	174
<b>IV 調査票</b> .....	179



# I 調査概要





## 1 調査目的

「かわさき市民アンケート」は、昭和 50(1975)年度から毎年 1 回 1,500 人を対象として行っていた「市民意識実態調査」を、より多くのテーマ、より多くの対象に調査するため、調査回数を年 2 回、各回 3,000 人の市民を対象にした調査に拡充し、名称を変更して平成 18(2006)年度から実施することとしたものである。

昭和 50(1975)年度から継続的に行ってきた市民の定住状況、生活環境の評価、市政に対する評価と要望等に加えて、市民に関するいくつかのテーマについて、市民の生活意識や行政に対する意識を調査し、市政運営や政策立案の参考資料とすることを目的として実施した。

## 2 調査方法

- |            |   |
|------------|---|
| (1) 調査の地域  | 川崎市全域   |
| (2) 調査の対象者 | 川崎市在住の満 18 歳以上の個人   |
| (3) 標本の抽出  | 第 1 回 インターネットモニター登録者から事前調査により抽出<br>第 2 回 住民基本台帳からの層化無作為抽出                             |
| (4) 標本数    | 第 1 回 1,500 標本回収まで実施<br>第 2 回 3,000 標本(令和 4(2022)年 9 月抽出)                             |
| (5) 調査方法   | 第 1 回 インターネット調査*<br>第 2 回 郵送調査(郵送配布一郵送回収・はがき督促を 1 回)                                  |
| (6) 調査期間   | 第 1 回 令和 4(2022)年 8 月 26 日(金)～9 月 6 日(火)<br>第 2 回 令和 4(2022)年 11 月 1 日(火)～12 月 9 日(金) |
| (7) 調査委託機関 | 株式会社総合企画  |

\*インターネット調査は、対象者を母集団から無作為抽出しているものではないため、回答者の属性に偏りが出ます。回答傾向から課題を発見するプリテストに適した調査方法です。

## 3 調査項目

### ◎第 1 回

<調査テーマ>	<問番号>
(1) みどりとの関わりについて	(Q1～Q7)
(2) コミュニティに係る施策について	(Q8～Q12)
(3) 選挙について	(Q13～Q22)
(4) 新型コロナウイルス感染症について	(Q23)

### ◎第 2 回

<調査テーマ>	<問番号>
(1) 定住状況について	(問 1～問 4)
(2) 生活環境の評価について	(問 5～問 6)
(3) 関心ごとと行動範囲について	(問 7～問 8)
(4) 市政に対する評価と要望について	(問 9～問 11)
(5) 夢見ヶ崎動物公園について	(問 12～問 16)
(6) 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う生活の変化について	(問 17～問 26)
(7) 新型コロナウイルス感染症について	(問 27)

#### 4 回収状況

	第1回	第2回
(1) 標本数	1,500 標本回収まで	3,000 標本
(2) 有効回収数	1,500	1,556
(3) 有効回収率		51.9%

#### 5 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、図表中の数値の合計が100.0%にならない場合や、複数の項目の数値の合計が本文中の数値と一致しない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- (5) 回答者数が30未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

#### 6 標本誤差 ※標本誤差は、無作為抽出を実施した第2回調査にのみ適用される。

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(p)によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母数集団 (川崎市の18歳以上人口)  
n=比率算出の基数 (回答者数)  
p=回答の比率 (%)

今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答比率(p) 基数(n)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
2,000	±1.34%	±1.79%	±2.05%	±2.19%	±2.24%
1,556	±1.52%	±2.03%	±2.32%	±2.48%	±2.54%
1,000	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
500	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
200	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
100	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%
30	±10.95%	±14.61%	±16.73%	±17.89%	±18.26%

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

#### 注/この表の見方

標本誤差とは、今回(第2回調査)のように全体(母集団)の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が2,000人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.19%以内(57.81~62.19%)である」とみることができる。

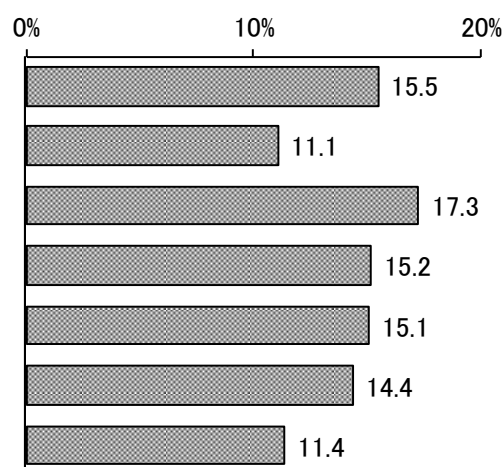
## II 調査回答者の属性



## 1 第1回アンケートの回答者

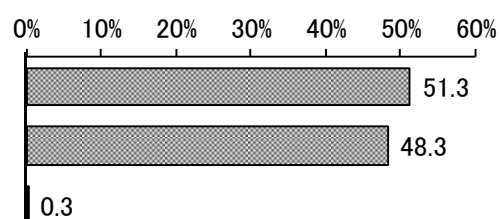
### 1.1 居住区

	基数(人)	構成比(%)
1 川崎区	232	15.5
2 幸区	167	11.1
3 中原区	260	17.3
4 高津区	228	15.2
5 宮前区	226	15.1
6 多摩区	216	14.4
7 麻生区	171	11.4
全 体	1,500	100.0



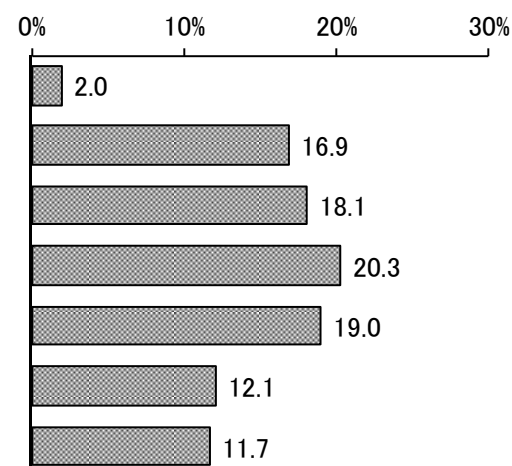
### 1.2 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	770	51.3
2 女性	725	48.3
3 選べない・答えたくない	5	0.3
全 体	1,500	100.0



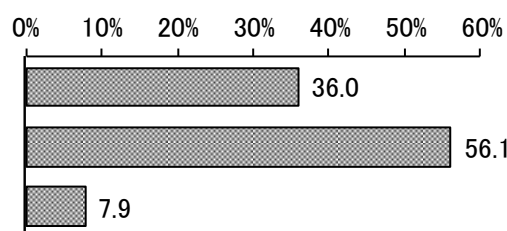
### 1.3 年齢

	基数(人)	構成比(%)
1 18～19 歳	30	2.0
2 20～29 歳	253	16.9
3 30～39 歳	271	18.1
4 40～49 歳	305	20.3
5 50～59 歳	285	19.0
6 60～69 歳	181	12.1
7 70～79 歳	175	11.7
全 体	1,500	100.0



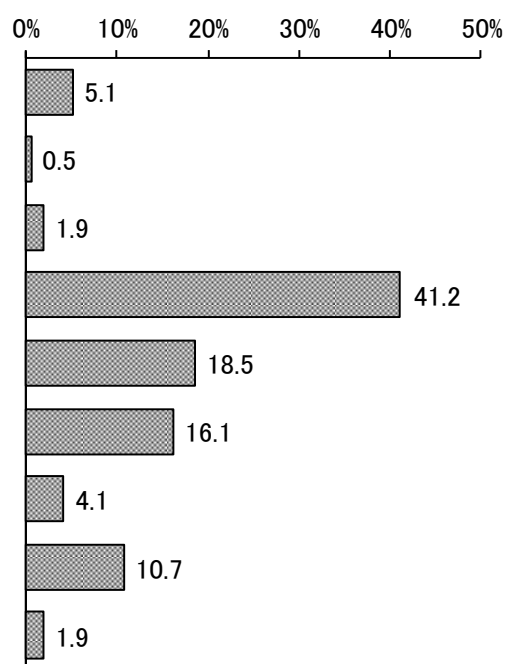
## 1.4 婚姻

	基数(人)	構成比(%)
1 結婚したことがない	540	36.0
2 結婚している	842	56.1
3 結婚したことはあるが、今は独身	118	7.9
全 体	1,500	100.0



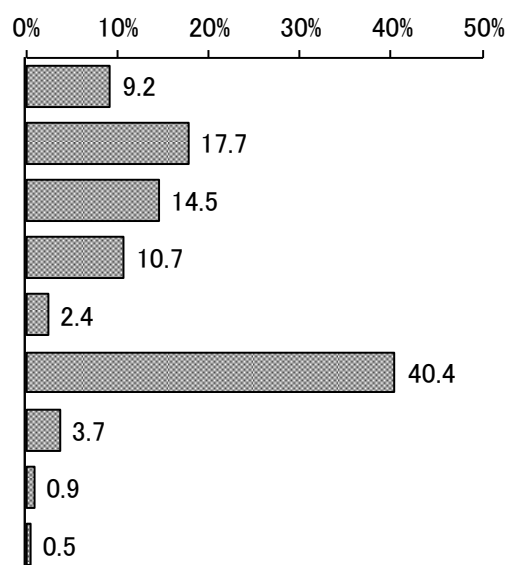
## 1.5 職業

	基数(人)	構成比(%)
1 自営業主	76	5.1
2 自営業の手伝い(家族従業者)	7	0.5
3 会社などの経営者・役員	28	1.9
4 正社員・正職員	618	41.2
5 パート・アルバイト・嘱託職員・派遣社員(正社員・正職員以外)	278	18.5
6 主婦・主夫(家事専業)	241	16.1
7 学生	62	4.1
8 無職(収入が年金のみの方を含む)	161	10.7
9 その他	29	1.9
全 体	1,500	100.0



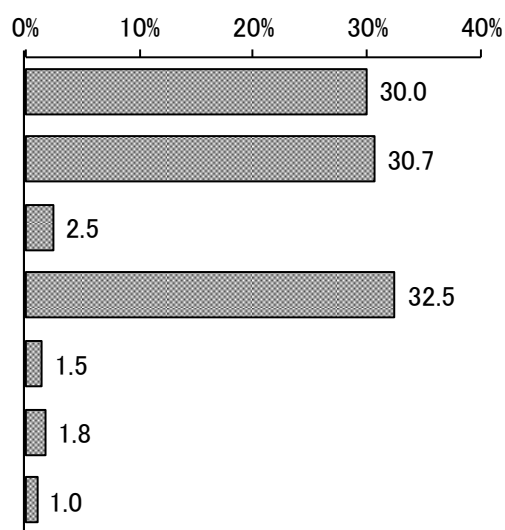
## 1.6 通勤・通学先の地域

	基数(人)	構成比(%)
1 自宅	101	9.2
2 川崎市(お住まいと同じ区で自宅以外)	194	17.7
3 川崎市(お住まいと別の区)	159	14.5
4 横浜市	117	10.7
5 川崎市・横浜市以外の神奈川県	26	2.4
6 東京 23 区	444	40.4
7 東京都(23 区以外)	41	3.7
8 神奈川県・東京都以外の道府県	10	0.9
9 通勤・通学していない	6	0.5
全 体	1,098	100.0



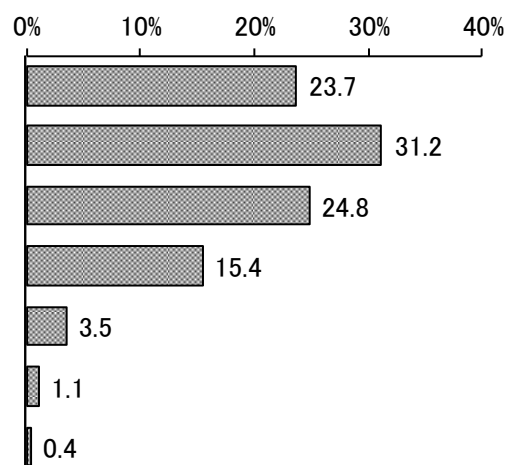
## 1.7 住居形態

	基数(人)	構成比(%)
1 持ち家(一戸建)	450	30.0
2 持ち家(マンションなどの集合住宅)	461	30.7
3 賃貸住宅(一戸建)	37	2.5
4 賃貸住宅(マンション・アパートなどの一般的な民間の集合住宅)	488	32.5
5 市営住宅や県営住宅などの公営住宅	22	1.5
6 社宅・寮・公務員住宅	27	1.8
7 その他	15	1.0
全 体	1,500	100.0



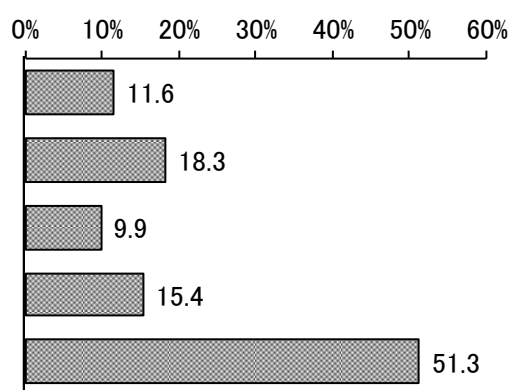
## 1.8 同居人数

	基数(人)	構成比(%)
1 1人	355	23.7
2 2人	468	31.2
3 3人	372	24.8
4 4人	231	15.4
5 5人	52	3.5
6 6人	16	1.1
7 7人以上	6	0.4
全 体	1,500	100.0



## 1.9 同居状況 (複数回答)

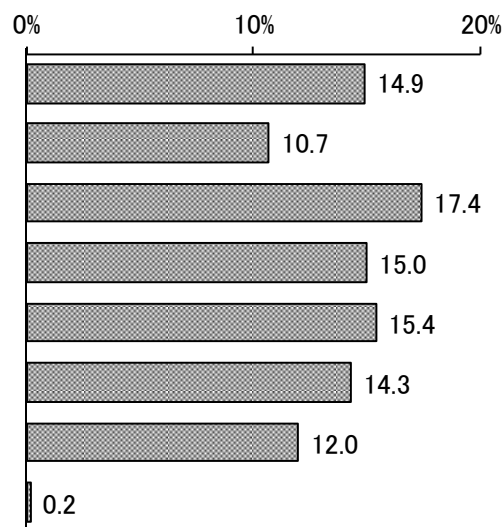
	基数(人)	構成比(%)
1 未就学児	133	11.6
2 小学生・中学生・高校生	209	18.3
3 短大生・専門学校生・大学生・大学院生	113	9.9
4 75歳以上の方	176	15.4
5 上記に当てはまるものはいない	587	51.3
全 体	1,145	-



## 2 第2回アンケートの回答者

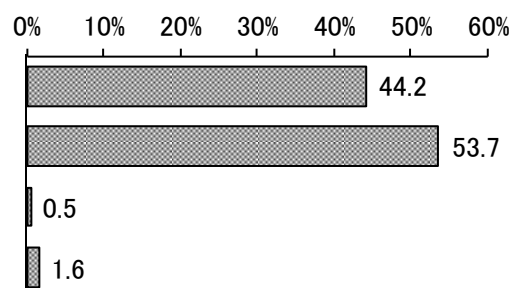
### 2.1 居住区

	基数(人)	構成比(%)
1 川崎区	232	14.9
2 幸区	167	10.7
3 中原区	271	17.4
4 高津区	233	15.0
5 宮前区	240	15.4
6 多摩区	223	14.3
7 麻生区	187	12.0
8 無回答	3	0.2
全 体	1,556	100.0



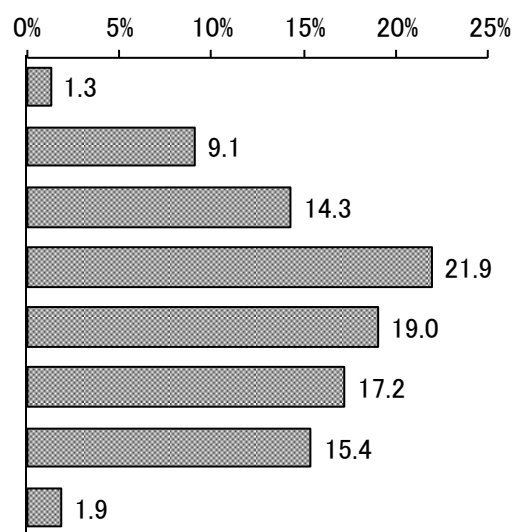
### 2.2 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	688	44.2
2 女性	835	53.7
3 選べない・答えたくない	8	0.5
4 無回答	25	1.6
全 体	1,556	100.0



### 2.3 年齢

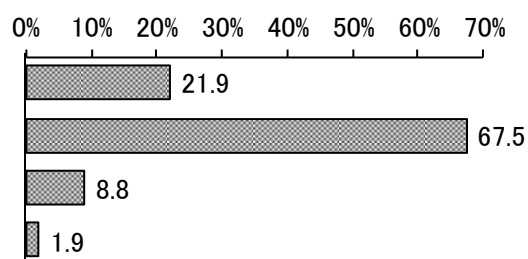
	基数(人)	構成比(%)
1 18～19 歳	21	1.3
2 20～29 歳	141	9.1
3 30～39 歳	223	14.3
4 40～49 歳	340	21.9
5 50～59 歳	296	19.0
6 60～69 歳	267	17.2
7 70 歳以上	239	15.4
8 無回答	29	1.9
全 体	1,556	100.0





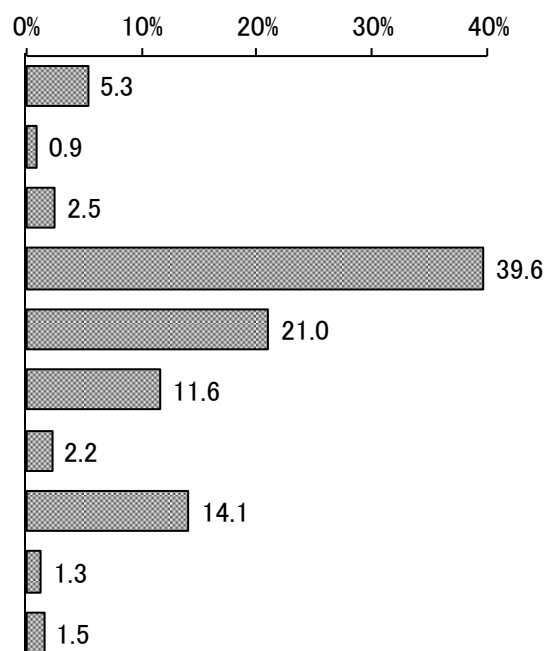
## 2.4 婚姻

	基数(人)	構成比(%)
1 結婚したことがない	340	21.9
2 結婚している	1,050	67.5
3 結婚したことはあるが、今は独身	137	8.8
4 無回答	29	1.9
全体	1,556	100.0



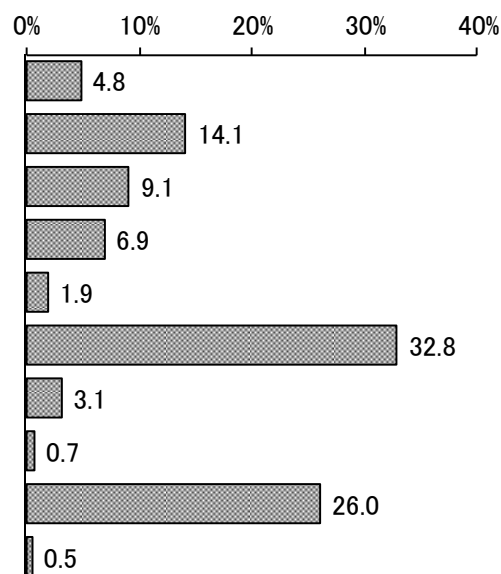
## 2.5 職業

	基数(人)	構成比(%)
1 自営業主	83	5.3
2 自営業の手伝い(家族従業者)	14	0.9
3 会社などの経営者・役員	39	2.5
4 正社員・正職員	616	39.6
5 パート・アルバイト・嘱託職員・派遣社員(正社員・正職員以外)	327	21.0
6 主婦・主夫(家事専業)	180	11.6
7 学生	35	2.2
8 無職(収入が年金のみの方を含む)	219	14.1
9 その他	20	1.3
10 無回答	23	1.5
全体	1,556	100.0



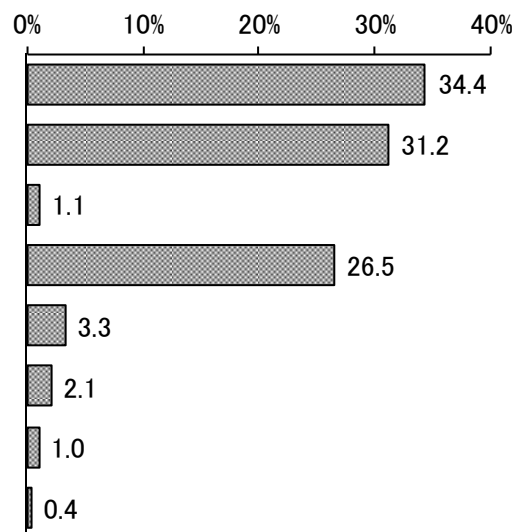
## 2.6 通勤・通学先の地域

	基数(人)	構成比(%)
1 自宅	75	4.8
2 川崎市(お住まいと同じ区で自宅以外)	220	14.1
3 川崎市(お住まいと別の区)	142	9.1
4 横浜市	108	6.9
5 川崎市・横浜市以外の神奈川県	29	1.9
6 東京 23 区	510	32.8
7 東京都(23 区以外)	48	3.1
8 神奈川県・東京都以外の道府県	11	0.7
9 勤め先、通学先はない	405	26.0
10 無回答	8	0.5
全体	1,556	100.0



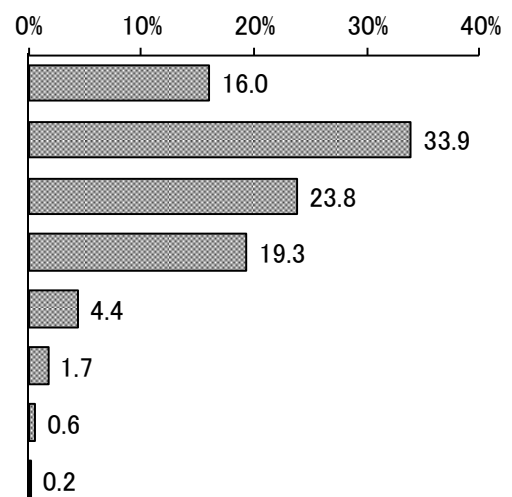
## 2.7 住居形態

	基数(人)	構成比(%)
1 持ち家(一戸建)	535	34.4
2 持ち家(マンションなどの集合住宅)	486	31.2
3 賃貸住宅(一戸建)	17	1.1
4 賃貸住宅(マンション・アパートなどの一般的な民間の集合住宅)	412	26.5
5 市営住宅や県営住宅などの公営住宅	51	3.3
6 社宅・寮・公務員住宅	32	2.1
7 その他	16	1.0
8 無回答	7	0.4
全 体	1,556	100.0



## 2.8 同居人数

	基数(人)	構成比(%)
1 1人	249	16.0
2 2人	528	33.9
3 3人	371	23.8
4 4人	301	19.3
5 5人	69	4.4
6 6人	26	1.7
7 7人以上	9	0.6
8 無回答	3	0.2
全 体	1,556	100.0



## 2.9 同居状況(複数回答)

	基数(人)	構成比(%)
1 未就学児	187	14.3
2 小学生・中学生・高校生	316	24.2
3 短大生・専門学校生・大学生・大学院生	144	11.0
4 75歳以上の方	215	16.5
5 上記に当てはまるものはない	555	42.6
6 無回答	35	2.7
全 体	1,304	-

